



創刊にあたって

今年度も、引き続き人権通信「ほっこり」を発行します。タイトルの「ほっこり」は、もともとは京都地方の言葉で、本来は「疲れた」「たいへんだった」という意味で使われていたそうです。しかし、最近では「ほっとする」「あたたかくなる」といった意味で使われていることが多いようです。

この通信の発行は年間を通して、道德の学習をはじめ、子どもたちの普段の様子の中にある「ほっこり」する一場面を、お伝えします。普段の子どもたちの取り組みや、学校での様子を保護者の方にお伝えできたらと思っています。その中で、人を大切にすること、自分を大切にすることについて、子どもたちが家族の方と一緒に語り合える機会になれば幸いです。また、今年度の人権参観後の懇談会では、講師の先生をお招きし、保護者の方々の日頃の子どもたちへの声掛けや言葉遣いについてなどをお話してもらう予定です。身近なことから一緒に考える機会になればと思います。ぜひご参加ください。

「中学生のみなさんありがとう!～トライやるウィーク～」 2年生

6月5日～6月9日までの5日間、八景中学校から6名の中学生の生徒がトライやるウィークで、三田小学校に職業体験学習に来ていました。

子どもたちは、「〇〇さん(先生)～♪あそぼう～♪」と言って、天気の良い日は、おにごっこなどをして、たくさん遊びました。また、ろうかそうじや給食当番の仕事が上手にできるように、みんなのことを温かく見守ってもらいました。

8日(木)には、巨大絵本の読み聞かせや「大嵐」「じゃんけん列車」などといったレクリエーションを企画して、2年生の子どもたちを楽しませてもらいました。最終日には、サプライズとして、子どもたち一人ひとりが心をこめて書いたお手紙を渡し、お手紙には、たくさんのお手紙の言葉があふれ、中学生の方とのつながりの深さを感じました。「(私たちが)3年生になったら、また来てね。」「先生になって、もどってきてね。」「また、遊ぼうね。」「…。中学生の方の周りには、最後まで別れをおしむ子どもたちがたくさんいました。

5日間でしたが、たくさん遊んだり、お世話になったりした中学生のみなさん。本当にありがとうございました。



「初めての毛筆に挑戦！」 3年生

「いつ書写はじまるの?」「早くやりたい!」「楽しみ!」と始まる前からうきうきの3年生。座り方や道具の使い方を聞いてから、いよいよ筆を使って線を書いていきます。最初の課題は「一」です。「ドン・スー・トン・フーッ!」と言いながら書いていきます。「太くならへん!」「さいごのトンが難しい!」と、苦戦していましたが、丁寧に書くんだった!という気持ちが伝わってきました。

片づけでは、早く片付け終わった子が、まだの子を手伝う場面がありました。ペットボトルで筆を洗うと、友達がそれを持って手洗い場に行ってくれます。「まだペットボトル持っている人いるー?」「これ持っていきよー!」とみんなの机の上が次から次へと片付いていきます。墨で汚れている床をぞうきんで拭く子もおり、教室がみるみるうちにきれいになりました。書写の授業も片付けも全力でがんばりました。

